

(別紙)

令和6年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

4番議員 井上 慎司

魅力ある開成幼稚園の姿について問う

開成幼稚園は平成31年4月から3年保育が始まり、園児数255名で県内トップの園児数を誇る幼稚園であったが、新入園児数は減少を続け今年度の園児数は152名となり、5年で100名余りの減少となっている。

幼児教育や保育には様々なニーズがあり、昨今では充実した幼児教育を実践している保育園も多数ある。そのようななかで現在の開成幼稚園は選ばれる幼児教育施設とは言い難い状況ではないか。

一方で、多くの保護者から、開成幼稚園の預かり保育の受け入れ拡大の声を伺っている。「開成町教育振興基本計画」のなかで、預かり保育を実施することで子育て支援の充実を図ると記されているが、現状ではニーズを補完できていないのではないか。

今後、子どもの心身への負担を配慮した上での預かり保育の拡大や短時間保育などを保護者が自由に選択することができるような体制づくりが必要であると考え

る。「第二期開成町子ども・子育て支援事業計画」の中で、幼稚園から認定こども園への移行の検討の継続が記されている。幼稚園のあり方、保育のあり方、認定こども園のあり方を一体的に議論し、早急に今後の開成幼稚園の方向性を示すべきと考える。

以上のことを踏まえ、町の見解を問う。